

満

主番 丸橋 昌久
 務 領 明 謙 一 月 廿 二 日
 司 領 明 謙 一 月 廿 二 日
 課 出 明 謙 一 月 廿 二 日
 大臣 領 明 謙 一 月 廿 二 日
 官 領 明 謙 一 月 廿 二 日
 了 結 明 謙 一 月 廿 二 日

長 局 務 領

裁 決



主務局長



主務局長



主務局長



大臣

馬

次 官



高級顧問



主務局長



件 名 亦人福原砲ヲ北方ニ借用スル件
 受 領 明 謙 一 月 廿 二 日
 降 領 明 謙 一 月 廿 二 日

評行 評連 帝

閱

評行 評連 帝



記

24

者 紀 筆 案 簿



○

軍物直修書

以友より書お軍物直修書

井八相台門ハ根根ニ在ル台ヲ費メテ

都ニテ遠近ノ計ハレヨ○特ニ

枝下士ニ重砲兵機砲方及砲

ヲ使用セリ又砲台建設器具材料

中セメト及不足物建設床ハ内地ヨリ

送付ス他ハ之ヲ一攻博砲方ニ

ヲ用ヒタル事ニセハ邦内砲台ニ在

分ヲ破入工ト共ニ使用セラレタ

禁業事ニ在リテハ其ノ力ヲ

平小南軍船に敵艦を撃つ事あり

電第一三四號

一月廿四

田中

日友より大か多免海軍少将、
亦八橋海軍少将の門下北方、任用元係
に界に謀略第三五八三隊中一が成
依り子民の通商河津隊免海軍少
に電復す致す。案系對主成及
あり也。

同子民の友より海軍少将の門下

一月廿四

兵部中務省、少輔、繁

ニセメント

六百石

六、至急、海軍、上、外、兵、木、八、海、米、揚、厚、
砲、特、設、砲、床、用、米、具、二、門、台、ト、共、三、門、
司、聖、我、兵、部、中、務、省、ハ、送、付、送、付、方、計、
ア、リ、シ

但、中、務、省、ハ、海、軍、多、ク、費、多、ク、所、ト、シ、
計、此、指、額、ハ、送、付、ス、ト、シ

一月廿三日

門、司、聖、我、兵、部、中、務、省、ハ、送、付、送、付、方、計、
繁

外隊之通兵等中隊より送付せし
其条之航上独立重砲兵格也
砲隊へ送付せし

陸軍省 満密發第一五九
一月廿三日

費用概算書
深分把持持費手支辨

三十一



8620

品名	目	員	数
甘納系特設座用被袋			二門台
合 合 座敷			二門台
合 合 床銘録蓋風木罽子			二門台
合 合 合 螺釘			二門台
合 合 合 角度釘、螺釘			二門台
合 合 合 軌鉄、螺釘			二門台
合 合 合 座敷			六百樽
多々市販行ハセキトクヤ			

座敷

筆欄 版用

陸軍省

陸軍

陸軍部 陸軍省 第一六一二號



陸軍部 陸軍省 第一六一二號

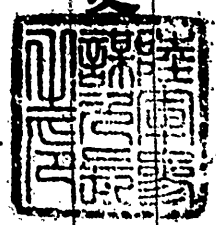
一月二十日

23

明治三十七年一月二十日

大本營陸軍參謀次長長岡外史

陸軍次官石本新六殿



0794



別紙滿洲軍情彙報長了ノ要求ノ件
 今戦局上至急充備為致度候付
 可然由取斗為本度及照令等
 追テ本件ノ関ニテ貴省了
 長工何分ノ由回示お申度便

大本營



電報 一月十九日

午後二時五十分
午後七時五分着

参謀次長宛

相名 總参謀長

二十八冊ヲ各方面ニ使用スル場合ノ準備トシテ
 之ニ要スル砲床ヲ建設セシメントス依リテ二十八
 冊六門ハ旅順ニ在テ輸送ノ準備ニアラシメ又
 砲床建設器具材料モ之ニ要スル特別將校
 下士モ旅団砲廠ニ附屬スル擧取トシテアリタリ

大本營